

第19回

浅草観音うら  
一葉桜まつり



## 協賛・協力

多くの企業・個人の皆様からご協賛・ご協力を頂きました。

### 特別協賛

協同組合 浅草商店連合会、一般社団法人 奥浅草観光協会、一般社団法人 浅草観光連盟、  
アサヒビール(株)、興産信用金庫 浅草支店、朝日信用金庫 浅草支店、  
城北信用金庫 東浅草支店、(株)日本不動産、(株)鮎忠、  
吉原神社、中川誠二、(株)アド・インターフェース

### 一般協賛

(株)ゴガミ  
(株)細川鉢木店  
(株)ヒノデ商会  
浅草千和 佐藤 慎  
浅草千和 田中 耕太朗  
浅草千和 古谷 日出夫  
浅草千和 水島 和彦  
日本コムシス(株)  
鈴木 康之  
浅草暴排協議会  
(株)アド協和  
(株)成功社  
(株)桜山  
株111億年  
(株)SK  
(株)神宮  
(株)ローズクォーツ  
(株)キング商事  
(有)光寿企画  
(有)三栄企画  
(有)アイデア商会  
(有)三和  
(有)秀美  
ゆり合名会社  
栄光合名会社  
柴田商事合名会社  
ルピナス合名会社  
山根 鉄美  
山田 親直  
重泉 健一

河村 良人  
(有)旭芳商事  
(有)セゾン観光  
(株)セリア  
(有)タイトー観光  
(有)大門  
(有)結城  
伊藤 和美  
石田 忠行  
飯島 清  
伊村 三千夫  
今城 芳美  
大山 敏和  
小林 嘉一郎  
小山 明  
杉山 彰朗  
(有)大豊興産  
中島 直子  
佐々木 丈展  
杉原 義孝  
鈴木 道子  
鈴木 昭一  
諫訪 仁彦  
佐野 和徳  
松尾 安紀  
道下 誠  
吉水 正紀  
信太 恵  
(有)鈴柳  
宮下 喜広

星 貴代志  
ホテル衣  
三浦屋  
めうがや  
山本 嘉一  
(有)絆縫屋  
西井 清和  
(有)割烹あさくさ  
竹松食品(株)  
大学いも 千葉屋  
徳太楼  
(株)三升屋商店  
三好弥  
五島 進  
三楽・一富士  
ふぐ やき鳥 釜飯 細井  
前田製函(株)  
ふぐ料理 魚清  
(有)サトケン  
酒の大枒  
(有)ナガイ  
ミモザ 川杉百々代  
デンキヤホール  
(有)川元薬局  
竹下乳業(株)  
細田観光(株)  
山口家  
鮮魚 魚誠  
(株)鳥 仙  
(有)福丸商店

有隣電気(株)  
(株)ユニバーサル  
(株)渡邊秀男商店  
(株)浅井梶包  
日曜大工ストア イマシロ  
コーヒーショップ カリブ  
浅間神社 奉贊会  
(有)松下建築設計事務所  
(有)根岸商店  
御菓子司 塩塋  
世界電器(株)  
日経新聞  
和洋食屋 いいま  
ケーキショップ テラサワ  
にいど・だもおれ  
和田 泰昌  
喫茶あかね  
(株)久保柳商店  
(株)高崎  
(株)チカオ  
近藤(株)  
(株)東京刃型  
中川 誠二  
鈴木 美代子  
金城 栄  
不破 利郎  
石渡 千賀子  
霜村 栄治  
吉原 達雄  
(株)FOREVER

### 江戸吉原おいらん道中協力

松竹衣裳(株)、藤浪小道具(株)、地丸企画、宮川かつら店、望月太左衛

### 協力

東武鉄道、東京メトロ、つくばエクスプレス、東京都交通局、めぐりん、東京新聞

お問合せ／事務局 TEL.03-5811-1929



主催  
一葉桜まつり・小松橋通り実行委員会  
台東区馬道地区町会連合会

共催：ときめきたいとうフェスタ推進委員会

後援：台東区

一般社団法人 奥浅草観光協会

一般社団法人 浅草観光連盟

協同組合 浅草商店連合会



ホームページ  
<https://www.ichiyosakura.com>

4月8日  
令和5年  
土

時間／12:30～15:45  
会場／一葉桜・小松橋通り

# 江戸吉原おひらん道中

江戸っ子たちが熱狂した絢爛優雅な行列



吉原は、江戸幕府に公認された最大の遊郭でした。1617年(元和3年)日本橋付近に設置され、1657年(明暦3年)の「明暦の大火」を機に現在地(浅草田圃)に移転して300年間、その灯をともしました。最盛期には3,000人いたとされる遊女には格があり、その頂点に君臨したのが「花魁」(おいらん)です。

「花魁」になるには、容姿や気だてばかりではなく、幼い頃からの教育で身につけた詩や音楽、文学などの教養が必要とされていました。見世の屋台骨を支える稼ぎ頭だった「花魁」は、人気だけでなく、素養豊かな大スターだったのです。そのため、禿(かむろ)や新造(しんぞう)などさまざまなお世話をされる者がついていました。

遊郭には独自のしきたりがあり、遊女とお客様は、まず引き手茶屋で会うのが常でした。花魁がお客様から指名を受け、自分の部屋から茶屋へ出向く道中行列を「花魁道中」といいました。禿や新造、やり手などに付き添われて行く華やかな行列はひとつの「見せ場」であったため、有名な花魁の道中には、数多くの見物人が集まつたそうです。

「江戸吉原 おいらん道中」では「象潟」(きさかた)と「藤浪」(ふじなみ)の二人の「花魁」による道中が行われます。自分の部屋から引き手茶屋へ向かう「往路」とその帰りである「復路」がそれぞれ行われ、引き手茶屋ではお客様と花魁が作法にのっとり顔合わせを行う様子を再現します。

一葉桜

サトザクラの園芸品種で、花は八重咲きで、初めは淡紅色、後に白色となります。花の中心から長さ一センチメートルほどの細い緑色の変わり葉がでることから「一葉桜」の名があります。主に関東地方で植栽され、一葉桜・小松橋通りや新宿御苑が名所として知られています。



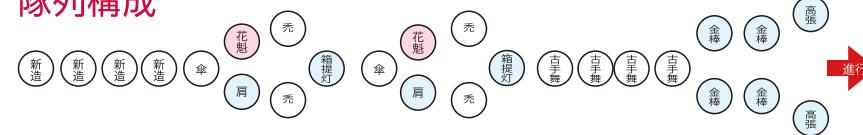
＜江戸吉原粋花街乃賑＞引き手茶屋の様子を再現

## 花魁と客との粋な顔合わせ

吉原ではさまざまな作法や独特的のルールがありました。客は、花魁と最初の顔合わせである「初会」から始め、2回（「裏を返す」）、3回（「馴染み」）と少なくとも3回登場しなければ、親しく接することができませんでした。ステージでの「座敷の場」で掛け見世、盃毎、煙管毎などでその様子を再現します。



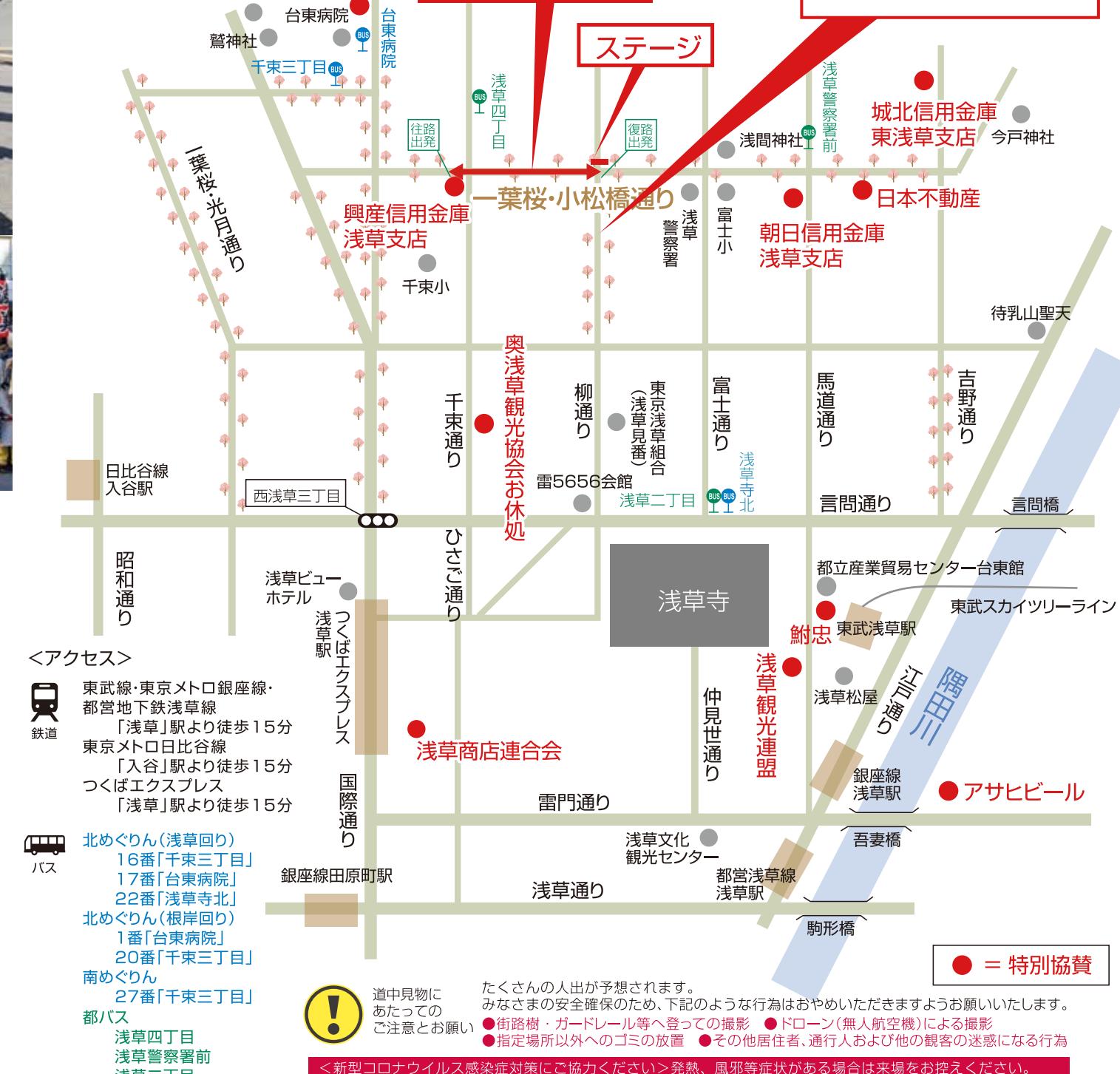
# 隊列構成



おいらん道中会場

ステー

**環境課のブースを出展します。**  
**花苗の配布**  
(14時30分～15時30分、先着100名)  
園芸相談も実施します。



＜江戸夢模様＞粋で華やかな江戸の芸能披露



## 望月太左衛(おづき たざえ)

重要無形文化財・長唄(総合認定)保持者。幼少より父(十代目宗家家元望月太左衛門)の指導を受ける。1994(平成6)年二代目望月太左衛門を歌舞伎座にて襲名。2006(平成18)年東京芸術大学において博士号(音楽)取得。伝統芸能教場・鼓楽庵代表。NPO法人日本離子音楽文化研究会理事長。台東区内にて「おはやしの会」など邦楽教育に力を入れ、国内での邦楽普及に加え、アメリカ・ドイツ等海外での演奏・講演など活動範囲を拡大している。



＜吉原の狐舞＞吉原独自に行われた招福舞

「吉原の狐舞」は、江戸時代の吉原で大晦日に行われたという門付け芸。吉原は廓の四隅と大門の外には計5つの稻荷神社があり、遊女たちの信仰を受けており、遊女たち自身も「狐」と呼ばれていたりと、なにかと狐に所縁のある街であった。そんな吉原で大晦日、狐の面をかぶり御幣と鈴をもった「狐舞」が現れ、新年を寿いだと伝えられており、その姿は葛飾北斎の浮世絵にも描かれている。